

すくすく
みどり



すくすくみどりは、公園緑化協会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.sapporo-park.or.jp/kikin/>

公益財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031

札幌市中央区北1条東1丁目6番地16ニューワンビル4階

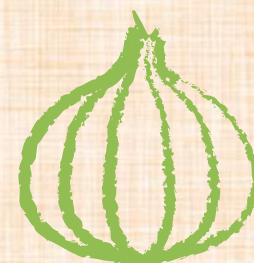
TEL.011-211-2579

緑と地球環境保護のため植物油インキを使用しています。



NO.
24

すくすく
みどり



家庭菜園に
チャレンジ!

野菜の栽培方法

悩み解決 Q&A



公益財団法人 札幌市公園緑化協会

も く じ

	はじめに	2
	栽培のこよみ	3
	家庭菜園計画を立てましょう	4
	野菜の栽培方法	
	トマト 7	ジャガイモ 27
	キュウリ 11	サツマイモ 31
	ダイコン 15	ゴーヤ 35
	タマネギ 19	ニンニク 39
	レタス 23	イチゴ 43
	収穫後の作業	47
	病害虫に対する農薬表	49
	緑の相談	50
	札幌市都市緑化基金	51

はじめに

最近、ベランダや庭の一部・貸し農園などで家庭菜園を楽しむ方が増えています。春にはお店に様々な野菜苗があふれ「育ててみたい! 食べてみたい!」気持ちになります。家庭菜園の魅力は何でしょう。

それは、土に触れたぬもりや手塩にかけた野菜が日に日に成長していく喜び、とれたての新鮮な野菜を家族や友人たちと食べたときの感動、子どもや仲間とともに育てる楽しさなど、栽培の数だけ魅力があるからではないでしょうか。

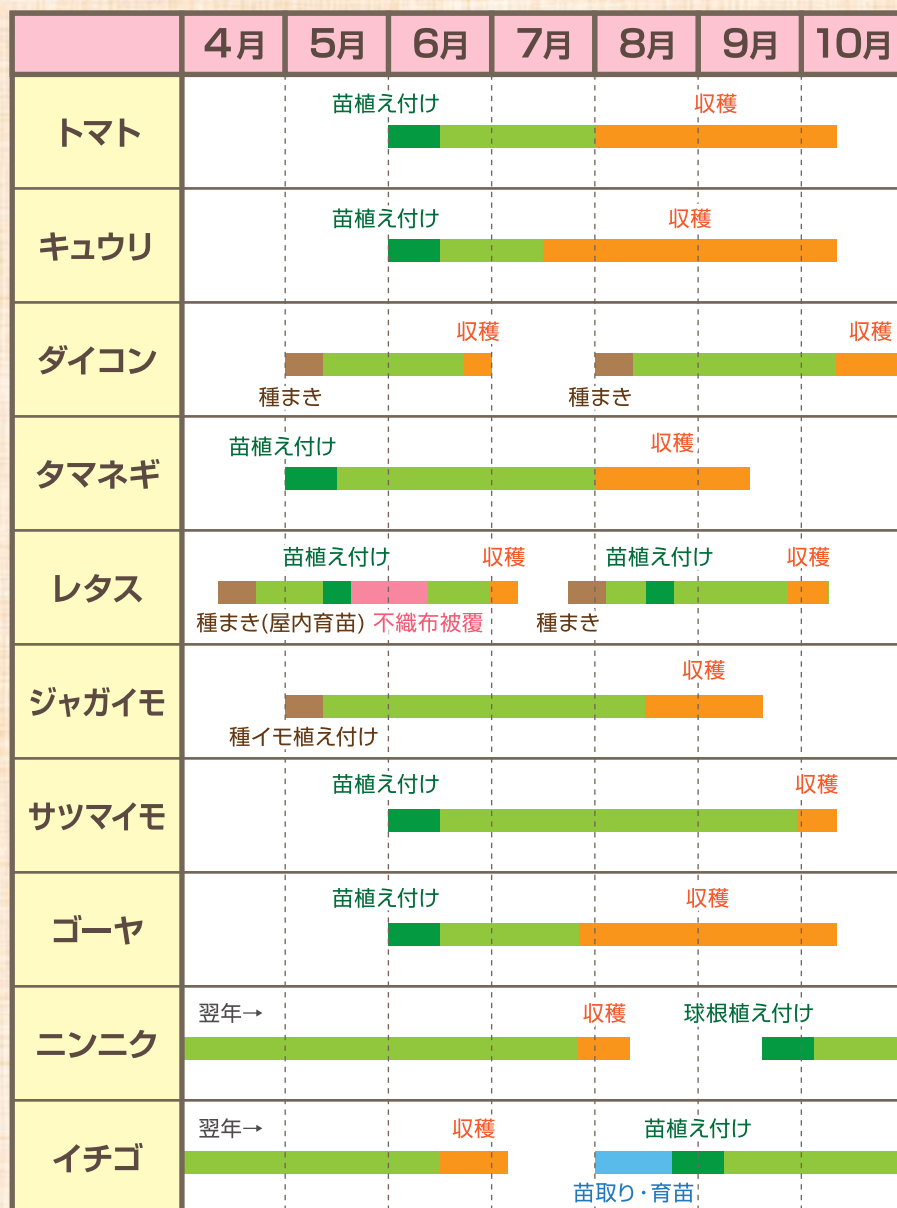
この冊子では、身近な10種類の野菜の栽培方法に加え、今まで「緑の相談」に寄せられた栽培に関する疑問・質問をQ&Aという形で紹介しています。

もちろん書店でもこうしたテーマの本が多く出回り「育て方がまったく分からない」といった時代では無くなりました。しかし、私たちが住む街札幌は、気候条件が本州と大きく異なるため、書店で売られている全国向けの園芸手引書をそのまま実践したのでは、うまく育たないことがあります。この冊子はそんな北国の環境に合わせた野菜の栽培方法、疑問点について少しでもお役にたてればと考え、作成しました。

すでに家庭菜園を楽しんでいる人はもちろん、これから始めてみようという人もこの冊子を有効に活用していただき、緑や土にふれあう環境づくりに少しでも役立てていただくことを願っています。

さあ、あなたはどの野菜づくりにチャレンジしますか!

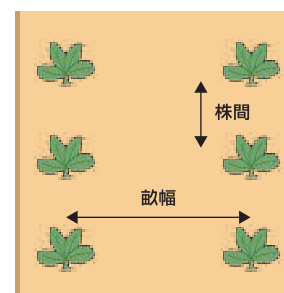
栽培のこよみ図



野菜づくりを行うために次のポイントに注意して栽培計画を立ててみましょう。

POINT 1 苗の植え付け間隔

苗の植え付けは栽培期間の長い野菜、短い野菜などを考えて間隔や面積を決めましょう。下の表以上に狭くして植え付けると十分に成長できず、株が軟弱になってしまいます。



野菜	畝幅(cm)	株間(cm)	野菜	畝幅(cm)	株間(cm)
ダイコン	50~60	25~30	カボチャ	250	60~100
ニンジン	30~40	10	エダマメ	60~70	20~30
ジャガイモ	75	25~30	スイートコーン	60~75	25~35
トマト	75~90	40~50	ホウレンソウ	20~30	4~7
キュウリ	70~100	60~90	キャベツ	50~60	40~50
ナス	70~90	45~60	ハクサイ	60~70	50~60

POINT 2 連作障害

毎年同じ場所に同じ野菜を作ると、その野菜で増える病気・害虫が多くなり、だんだん収穫ができなくなります。また、同じ野菜ばかりを作っていると土中の養分がかたよってしまいます。そのため、前年に野菜を育てた畑は休ませるか、前年に植えたものと違う科の野菜を選んでいきましょう。特にナス科、マメ科、ウリ科、アブラナ科の野菜は連作による影響が出やすいので気を付けましょう。

休む期間	野菜の種類
休まなくても害が少ない	タマネギ、ネギ、カボチャ、ニラ
1~2年	ダイコン、ニンジン、カブ、ホウレンソウ、インゲン
3~4年	トマト、ナス、ピーマン、メロン、ハクサイ、レタス、キュウリ、ジャガイモ
4年以上	エンドウ、スイカ、ゴボウ、ユリ根

POINT

3

日当たりと野菜

日当たりを好む野菜、日陰がよい野菜があります。たとえば、ミツバはスイートコーン、トマトなどの株間で栽培しても良い物が採れます。

光の強さ	野菜の種類
強い光を好む野菜	トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、メロン、カボチャ、ダイコン、ニンジン、ゴボウ、ハクサイ、タマネギ、キャベツ、豆類
やや日陰でも良い野菜	ナガネギ、ホウレンソウ、シュンギク、ニラ、レタス、サラダ菜、コマツナ、イチゴ、ジャガイモ
弱い光を好む野菜	ミツバ、セリ、フキ、ミョウガ



菜園の清掃

昨年の作物の枯葉、茎などが残っていると、病害虫の発生源になるので畑をきれいに清掃しましょう。

雪解け後の畑

畑は出来るだけ早く乾かし、地温が上がるようにしてください。畑が乾いていると土の温度の上がり方が早いので、排水の良い畑作りをしましょう。

堆肥の施用

堆肥の施用は原則秋に行い、施用後、耕起し土と混ぜ春までになじませておきます。春に堆肥を施用するときは種まき、苗植え付けの2週間前までにに行い土となじませます。堆肥を施用して植え付けまでの期間が短いときは、未熟堆肥に含まれる物質が作物の根に害を与えることがありますので、堆肥施用後のなじませる期間は必ず十分に確保してください。堆肥の施用量は3～4年ほど施していないときは1㎡で3～4kg、毎年施しているときは2kgが目安です。根菜類(ダイコン、ニンジン、ゴボウなど)を栽培するときは種まきの前にやらず、必ず前年の秋か、前の作物栽培の前に施用してください。

石灰について

石灰は土のpHを調べてから入れるようにしてください。特に家庭菜園では、石灰を入れすぎている畑が多いようです。簡単にpHを調べる酸度測定液が園芸店で安価で販売しており、石灰を入れる量が判る説明書も付いています。石灰を入れる時は堆肥と一緒に施し、畑の土とよく馴染ませましょう。

肥料の施用

肥料は、は種・苗植え付けの7日前くらいに施し、土と馴染ませておいた方が発芽、植付け時の障害が少なくなります。肥料は決して多く施さないようにします。過剰な施肥はむしろ害になってしまいます。

POINT

4

作付けの時期

地温が低いと根の張りが悪く、作物の生育が進みません。作物によって異なりますが、おおよそ地温が13℃を下回らなくなってから植え始めましょう。

低温に強く早く植え付けてもいい野菜 (4月下旬～5月上旬)

サヤエンドウ、ジャガイモ、ホウレンソウ、ターツァイ、春ダイコン、ラディッシュなど

暖かくなってから植え付ける野菜 (5月下旬～6月上旬)

トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、カボチャ、エダマメ、サヤインゲンなど

Q 野菜を栽培するならば、マルチをした方が良いと言われました。どのようにしたらよいのでしょうか？

春先に畑にマルチングをしている様子をよく見かけます。マルチングとは土の表面をプラスチックフィルムやワラ、堆肥などで覆う手法です。その目的は、①地温を上げる、②雑草防止、③アブラムシ忌避、④着色促進、⑤地温上昇の抑制などに分けられ、目的により使用するマルチングの資材の種類が異なります。目的にあったマルチングを活用してみましょう。

①地温を上げる

透明性の高いプラスチックフィルムを使用します。

②雑草防止

黒いプラスチックフィルムを使用します。

③アブラムシ忌避

アルミ箔を使用したプラスチックフィルムを使用します
(アブラムシはキラキラするのが嫌いです)

④着色促進

アルミ箔を使用したプラスチックフィルムを使用します (リンゴ、ブドウ、ナスなど果実の着色に使用します)

⑤地温上昇の抑制

ワラ、枯れ草、表が白色で裏が黒のプラスチックフィルム・表がアルミ箔で裏が黒のプラスチックフィルムを使用します
(盛夏時に地温の上昇を防ぎ、根の活力低下を回避します)



トマトの栽培

ナス科 ナス属

トマトは、赤道近くのアンデス高地の原産で、強い光と一定の温度を好みます。生育温度は日中21～26℃で30℃以上では落花したり、着色が悪くなります。本葉が2枚ほど開いた頃には本葉8枚程度が分化しており、茎の生長点に花がで始めます。8枚目の葉の腋芽が伸び始め、葉が3枚できて、その先端に花が付きまします。これが繰り返され多くの果実が着くこととなります。

しかし、限られた生育期間で多くの果実を生産するには株数を多くし、1株当たりの果実を制限した栽培をします。

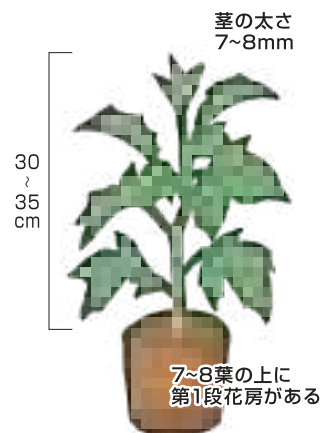
大玉系	桃太郎系が主流、麗果、りんか409
ミディ系	レッドオーレ、フルティカ、ルイ60
ミニ系	キャロル系、アイコ、ココ

畑の準備

植え付け2週間前に1㎡当たり完熟堆肥2kg、苦土石灰は土壌pHを調べてから必要量を全面散布し30cm程の深さに良く混和します。植え付け1週間前に1㎡当たり野菜用有機化成肥料を100g全面散布し10cmの深さに良く混和します。排水不良地では20～30cmの高畝にします。土質は特に選びません。

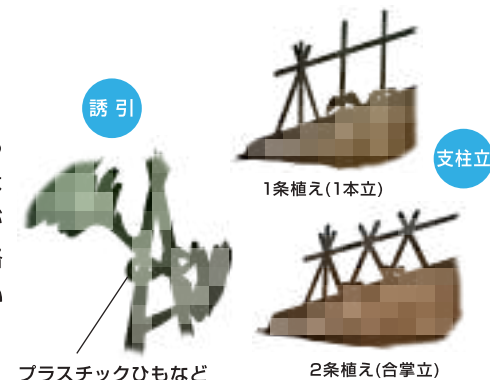
植え付け

マルチは非常に有効(植え付け1週間前に設置)です。植え付け後はマルチ穴を土で塞ぎます。植え付けは急がず、地温が上昇する6月初旬に行います。苗は茎が7～8mmの太さで草丈30～35cm、1段花房が1、2花開花したガッシリした苗を使います。苗には前日タップリ水やりをしておきます。畝幅70cm、株間50cm以上とし、植え付け時花房を通路側に向けまします。



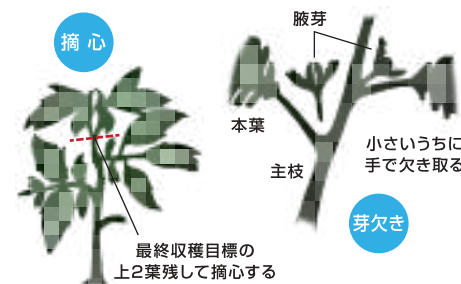
支柱立と誘引

支柱は垂直立が受光や作業面から有利ですが倒伏対策が必要です。合掌立は丈夫ですが、ムレが生じ病害虫の発生が多くなります。支柱は苗の後ろ側(通路内側)に立て、茎の誘引は締め付けないように支柱と8の字に紐を掛けまします。



芽欠きと摘心

トマトは葉の付け根に腋芽が出るので早く欠き取り、遅くとも2～3葉までにとります。果房直下の腋芽は生育が早いので注意まします。最終果房の上2葉残して摘心(大玉5段、ミディ、ミニ7段が最終)まします。



授粉作業

開花時に気温が18℃以上あれば、ミツバチなどにより順調に授粉まします、低温時などは、トマトーンを使います。濃度は気温の4倍(20℃の時20×4=80倍)にしてドブ漬けまします。晴天時では花房に振動を与えても授粉まします(トマトトーンの希釈液を噴霧する方法もあります)。

摘果

大玉系は1果房4～5果とし、1～2段果房は4果程度に摘果まします。ミニ系は1段果房の花数が20花以上では、小さな花を除くと2段果房以降の着果や肥大が良くなります。



追肥と生育診断

追肥は各果房の2～3番果がピンポン玉大になったら窒素、加里中心の化成を1株当たり10g程度畝間に施まします。3段果房までで5段果房の分まで満たされまします。ミニ系などは3段果房開花期から各果房開花期ごとに5段果房まで施まします。必ず草勢を見て施まします。

水やり

1週間以上雨が降らず、朝、葉に水滴がつかなくなったら通路に水を流し込みます(1株1〜2L)。水切れ状態になると石灰の吸収が悪くなり、尻腐れ果が発生します。



病害虫防除

葉カビ病、灰色カビ病、えき病、うどんこ病などが発生するので、殺菌剤で防除します。害虫ではアブラムシ、オンシツコナジラミ類の発生があるので、適用殺虫剤を散布します。薬剤の散布には規定濃度の展着剤を加え、安全使用基準に基づいて散布します。

収穫

大玉系は着果後55〜60日、ミニ、ミディ系は着果後45〜50日で収穫適期となります。収穫が遅れると裂果を生じるので注意します。

容器栽培

鉢 植 え 10号鉢を用い、1株植えにします。用土は約8L必要です。

赤玉土(小粒)4.6Lに苦土石灰25gと堆肥2Lを植える2週間前混和します。底土としてゴロ土を約1.4L使います。野菜用有機化成肥料8gを植える1週間前に混和し、鉢に入れます。
※容器栽培では、水切れしないように注意します。

コンテナ 650型を用い2株植えにします。用土は約12L必要です。

赤玉土(小粒)7L、苦土石灰30g、堆肥3Lを植える2週間前に混和します。底土としてゴロ土を約2L使います。野菜用有機化成10gを植える1週間前に混和しコンテナに入れます。
※鉢植、コンテナとも、草勢をみて適宜追肥します。



650型2株

10号鉢1株

Q 尻腐れ病の原因と対策について教えてください。

尻腐れ病と一般に言いますが、病気と違って石灰不足による生理障害なのです。石灰の施用量が不足している、窒素の施用が多すぎる(養分間のアンバランス)、水分不足で石灰を吸収できない等があります。＜対策＞①畑に苦土石灰等の施用。②速効性資材の葉面散布(カルクロン、カルプラス、乳酸カルシウム等)。③堆肥などの有機物を十分に施して、土壌の保水性を高める。④乾燥状態に応じた水やりをする。相談で多いのは窒素肥料のやりすぎで尻腐れ病の発生が多いようです。

Q 夏過ぎから果実の肩の部分が、割れてくるのは何故でしょうか。

＜原因＞熟する時期に、乾燥が続くその後一気に降雨がある場合、果実の内部が急激に成長し内部の圧力が高まっているのに、果皮の成長が伴っていなかったり、果皮が硬化している場合に裂ける生理障害です(裂果)。＜対策＞乾燥の防止:ポリマルチや敷きワラを行い水分調整します。併せて有機物施用で土づくりをします。その他①水やりを均等にします。過乾、過湿は裂果を助長しますので、乾燥状態に応じた水やりをします。②雨よけをします。根からの急激な吸水を避け、また、果実に雨の当たるのを防ぎます(腰高ビニールトンネル等)。③元気な株を維持します。株が夏バテをしないように生育後半の肥培管理を心掛けます。④陽射し対策をします。日に当たると果皮が老化し裂果しやすくなるので、果実に陽が当たらない程度に摘心、摘葉をしましょう。

Q ミディ、ミニ系の側枝仕立を教えてください。

1株1本直立が理想ですが、側枝を利用した2本仕立ても可能です。第一花房直下の強い側枝を伸ばし誘引していきます。別の方法として苗の本葉3葉期に子葉の上部で摘み取り、子葉節から揃った側枝を伸ばして、2本に仕立てる方法もあります(育苗を自分で行ったとき可能)。いずれも1株で2本分の株間を空けておくことが必要になります。

Q 着色前の果実の肩部分に、1〜2mmほどの白色円形の斑点があります。これは何でしょうか、食べても良いでしょうか。

黄白色状の斑点で中心に褐色の点があると思います。灰色カビ病菌が果実に着いたもので、ゴーストスポット(幽霊斑)と言われているものです。食べても問題ありません。この菌が葉や茎に着くと枯れこみや果実で重症になると灰色のカビが生じ腐敗します。低温多湿で発生が多くなります。菌は死物に寄生し繁殖しますので、花弁などがヘタの部分に付いていたら取り除くようにします。気象条件によっては予防防除が有効です。



キュウリの栽培

ウリ科 キュウリ属

キュウリはインドのヒマラヤ山麓原産と言われています。生育適温は、日中25℃、夜間15℃前後です。10～12℃以下で生育が止まり、0℃になると凍害を受けます。第1本葉が展開したところから、花芽は分化します。花芽分化後低温短日条件で雌花が、高温長日条件で雄花が多くなります。根の酸素要求度が高く、温度や水分に敏感に反応します。土壌の適応性は広く、排水の良い壤土が最適です。土壌酸度は、pH6.0前後で酸性には弱く、pH5.5以下では適しません。土壌病害のつる割れ病には弱く、殆どが接ぎ木苗の利用になっています。

品 種

シャープ7、南極2号、夏すすみ、黒さんご、四葉等

畑の準備

植え付け2週間前に1㎡当たり、堆肥2kg、苦土石灰は土壌pHを調べてから全面に散布し、30cm程度の深さに良く混和します。植え付け1週間前に1㎡当たり野菜用有機化成100gを全面散布し10cm程度の深さに良く混和します。排水不良地では20～30cmの高畝にします。

植え付け

マルチは地温を上げるのには有効です(植え付け1週間前に)。植え付けたら土でマルチ穴を塞ぎます。植え付けは急がず、6月初旬頃から大丈夫です。キュウリは、土壌病害のつる割れ病が発生しますので、接ぎ木苗の利用をお勧めします。苗は本葉4～5枚で、節間の詰まったがっちりしたものが適します(葉径15cm程度で厚みのあるもの)。苗に前日タツプリ水やりをしておきます。畝幅70cm、株間30cm(2本立ては60cm)にします。



定植適期苗

支柱立と誘引

支柱は垂直立て、合掌立て、ネットなどがありますが、風に対する強弱があるので対策を十分に立てましょう。ネットの場合は、整枝を丁寧に行わないと、全面が壁状態になりますので要注意です。支柱は苗の後ろ側に立てます。誘引は紐を8の字に掛けてつるを締めつけないようにしましょう。



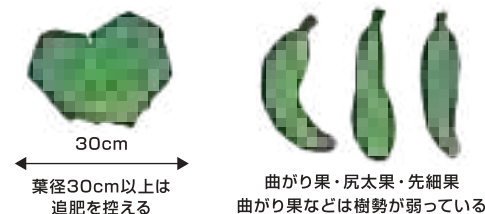
摘心

親づるの5節までは、雌花、子づる(側枝)とも摘み取り、株の充実を図ります。6～9節は子づるに1個の雌花と1葉を残してつるを摘みます(摘み取る葉が5cm位の時)。10～20節は子づるに2個の雌花と2葉を残します。20節以上の上位節の子づるは1節残し摘心します。親づるの摘心は手の届く高さで先端部を摘み取ります。側枝を使った2～3本仕立てでも整枝法は同じです。



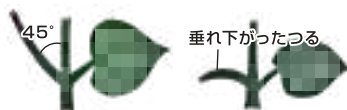
追肥

草勢を見ながらになりますが、1回目は収穫始めの時、追肥用化成(窒素、加里主体)を1株当たり20g程度通路に散布し、軽く中耕をしておきます。2回目以降は20日毎に施します。葉の径が30cm以上あるときは、草勢が強いので追肥は控えるようにします。曲り果、尻太果、先細果が多い時は草勢が弱っているので、早め収穫で(早採り)着果量を少なくし追肥、水やりをします。



水やり

キュウリは水を多く必要とする作物ですが過湿を嫌います。晴天が続くときには、午前中に1㎡当たり20L程度の水を通路に流します。正常の巻づるは、つるに対して45度位の角度を持っています。垂れ下がっている時は乾燥しているので水やりが必要です。



病害虫防除

黒星病・べと病・うどんこ病・斑点細菌病等には、それぞれに対応した殺菌剤、アブラムシ・ハダニ・コナジラミ類等には、殺虫剤等に規定濃度の展着剤を入れ、安全使用基準に基づいて散布します。

収穫

開花後15日位より収穫でき、最盛期では7日程度で採れます。品種により多少異なりますが、長さ20cm、果重100g程度で収穫します。草勢を見ながら早採りを組み合わせて、収穫を楽しみましょう。

容器栽培

鉢 植 え

10号鉢を用い、1株植えにします。用土は約8L必要です。

赤玉土(小粒)4.6Lに苦土石灰25gと堆肥2Lを植える2週間前に混和します。底土としてゴロ土を約1.4L使います。野菜用有機化成肥料12gを植える1週間前に混和し、鉢に入れます。

コンテナ

650型を用い、2株植えにします。用土は約12L必要です。

赤玉土(小粒)7L、苦土石灰30g、堆肥3Lを植える2週間前に混和します。底土としてゴロ土を約2L使います。野菜用有機化成15gを植える1週間前に混和しコンテナに入れます。水切れしないように注意します。※鉢植、コンテナとも、草勢をみて適宜、追肥します。



650型2株

10号1株

Q

キュウリの仕立て方にはどのような方法がありますか。

1株に①親づる1本、②親づると子づる1本の2本、③親づると子づる2本の3本仕立てがあります。2本仕立ては、親づるの5～6節から出る発育の良い子づるを1本残します。3本仕立ては親づるの4～5節から出た発育の良い子づるを2本伸ばします。仕立て方は使う品種の特性に合わせて選択します(主枝どりか側枝どりか)、3本仕立てはネット栽培に適しています。1つる1株の計算でしっかり株間を取りましょう。

Q

キュウリは何故接ぎ木をするのですか。

理由は大きく2つあると思います。第一にウリ類(スイカ、メロン含めて)にとっては厄介な土壌病害(つる割れ病)があり、これの回避策として活用されています。もう一つは、ブルームレスキュウリの生産のためです。ブルームとは、ブドウ、ブルーベリーなどの果皮が白く粉を付けたようになっている物質のことです。これはその植物が身を守るための保護物質と言えます。消費者はこれがあると見映えが悪いとか、農薬が付いていると勘違いをして敬遠をした結果、ブルームを付けない台木が育成され、現在は殆どブルームレスのキュウリが流通しています。

Q

葉が茂っている所は、除去しても良いでしょうか。

葉で光合成を行い、養分を作っているのだから、基本的には取らない方が良いのですが、茎葉が茂り過ぎて採光や、通風が悪くなっているときは、新葉に日陰を作っている葉を除去します。1回に1～2枚、多くても3葉までとしますが、古葉(下方で黄化し硬化している葉)や病葉は同時に取っても差し支えありません。

Q

つる割れ病とはどのような症状が生じますか。

カビの一種の糸状菌(フザリウム菌)により発病するもので、高温期に(27～28℃)発生しやすく、始め植物体のいずれか一方側の、下葉が日中萎れ、夜間や曇雨天には回復します。この状態を繰り返して、徐々に上部に達し、葉色は黄化してきます。症状が進行してくると、しばしば茎の基部が割れてヤニを出し、白色ないし鮭肉色のカビを生じます。地際部から萎凋黄化した位置くらいまでの茎と葉柄の維管束は褐変し、硬く木質化しています。根も同様に侵されています。典型的な土壌病害で菌は十数年土中に生存します。収穫後作物の茎葉はほ場外に搬出し処分しましょう。防除法は連作を避けることと、抵抗性台木に接ぎ木することです。



ダイコンの栽培

アブラナ科 ダイコン属

ダイコンは冷涼な気候を好み、耐暑性には弱いが耐寒性に強い野菜です。土壌の適応性が広くかなりの痩せ地でもよく育ちます。栽培中は気温の変化などで苔立ちやス入りなどの生理障害を起こすことがあります。土壌病害を避けるため作付けは極力3年以上あけて連作を避けましょう。

主な品種	春まき	健志総太り、夏つかさ、初舞台、喜多一など
	初夏まき	かつみ、福味2号、夏つかさ、献夏37号など
	晩夏まき	耐病総太り、耐病宮重、かつみ、福味2号など

栽培のこよみ	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
春まき		は種							収穫
夏まき			は種						収穫
晩夏まき (漬け物、貯蔵用)					は種				収穫

※作型により適応品種を選ぶ(絵袋の表示は関東地区が基準なので注意すること)。

畑(まき床)の準備

秋に完熟堆肥2kg/㎡を施し、深め(25~30cm)に耕します。苦土石灰の施用は畑の酸度確かめて(適正土壌酸度pH6.0~7.0)必要量を施します(種まき約2週間前までに行います)。耕土が浅い、未熟な有機質や礫などがあると根が変形したり傷つくので、良く耕したうえ、土中の異物(石ころなど)を取り除きます。種まき5~7日前に植え床(ベッド)幅80cmを少し高畝にして(図)野菜用化成肥料(50~80g/㎡・うち20gは分施する)を施し、レーキやくわなどでよく攪拌して均します。(表層施肥)晴天続きで畑が乾いていたら、種まき2日前に灌水しておきましょう。

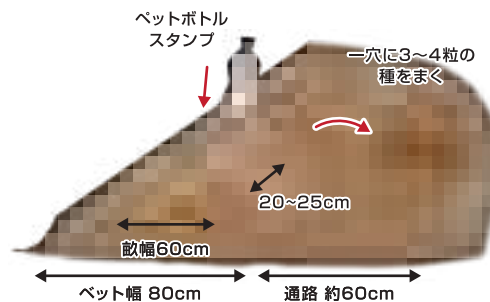


POINT

種まきのスジ引きをしたらスジ沿いに適用殺虫剤を撒いておきます。(タネバエなど幼苗期の害虫対策)

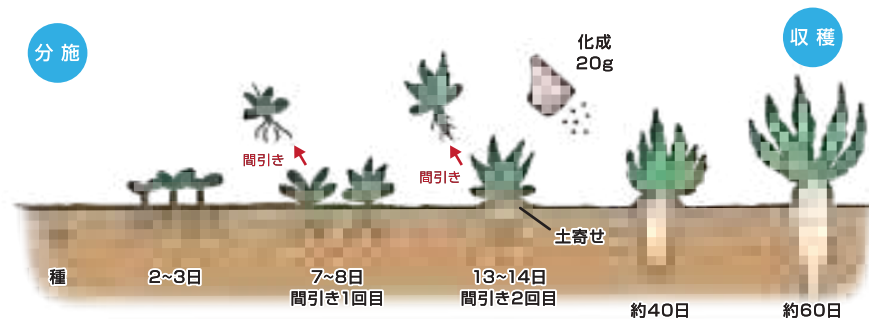
種まき

平らに均したら畝幅60cm・株間20~25cmに草取りくわで条を引いて、株間20~25cmを目安に播き印の凹みをつけて、播き印1穴に3~4粒ずつ種を落とします。種と種が接触しないよう、播き印は炭酸系飲料のペットボトルを使うと便利です。また、土を湿らせておくと凹みの印がつきやすくなります。種が見えなくなる程度に薄く覆土します。



間引きと追肥

間引き1回目は、本葉(子葉に次いで出る)が見える頃(種まき後7~8日目)正常な子葉(正ハート形)の株2本を残して引き抜きます。2回目は、本葉3~4枚の頃(種まき後13~14日目)更に丈夫そうな株1本を残して整理します(間引きの時株が接近していたら、残す株元を押さえて傷めないよう保護)。あわせて、株元に2cmほど土を寄せ、種まき後30日頃に化成肥料(20g/㎡)を分施し攪拌します。



収穫時期

春まき夏どり

種まきから50~60日で収穫する。遅れるととう立ちします。

夏まき秋どり

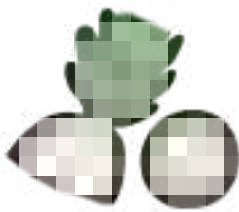
種まきから60~80日で収穫する。品種により前後します。

病害虫と生理障害

発芽後、子葉に変色か食痕が見られたり、地際からぼったり倒れたり、本葉の中央部が縮れたように変形するのは、ほとんど害虫の仕業です。捕殺するか適応農薬(家庭菜園では、市販のスプレー剤が便利)などで早めに処理するのが肝要です。

黒点病

家庭菜園で多く見受けられる病害。原因はバーティシリウム・ダーリエ(糸状菌)の伝染による。土壌病害で土壌消毒以外の対策はありません。罹病個体や茎葉の処分を徹底し、少なくとも3年以上はダイコンの作付けを避けます。



軟腐病

バクテリアによる病害。雨が多いと発生しやすくなる。地下水位の高い畑ではあらかじめ高畝にして作付けします。窒素過多を避けます。

モザイク病

ウイルスによる病害。ウイルスは主にアブラムシが伝播するので、駆除を徹底します。

ス入り

生理障害によるもの。生育後半の高温などで二次成長をしている、地力が落ちているときに起こる症状です。堆肥の施用などで地力を上げておき適期に収穫することが大切です。



貯蔵

傷があったり変色したものは貯蔵に向きません。葉の生長点部分は切り取って茎葉を付けたまま深さ30cmくらいに埋めておくと、2月頃まで鮮度を保った状態で貯蔵できます。

Q

貯蔵したダイコンを食べようとして取り出して切ってみたら、ダイコンの真ん中あたりが白っぽく変色していてスカスカになっていました。これは病気なのでしょうか？また、食べても差し支えないものか心配です。

収穫が遅れた場合、また、貯蔵中に生育が進んで二次成長となり、ダイコン本体の養分が奪われス入り状態になります。おたずねの障害はこの「ス入り」と考えられます。貯蔵中の温度が高いと二次成長が進み養分欠損による品質障害が起こります。食用には問題ありませんが食味はあまりよくありません。貯蔵の時、葉の部分はダイコンのすぐ上の部分で切り取ってしまうか、周りの葉を使いたいときは芯を切り取っておくと良いでしょう。1本ずつ新聞紙でくるみ、立てておいても良いです。

Q

秋まきダイコンがやっと発芽して喜んでいましたが、次の朝見たら子葉全体に白い斑点がみられました。そのままで大丈夫でしょうか。

秋まきの場合はキスジトビハムシ(ノミハムシ)の被害でしょう。そのままにしておくとダイコンの表面に傷跡が残ることもあります。対策としては種まきのとき適用殺虫剤を畝に撒いておくとう良いでしょう。万一葉が種に触れても問題ありません。

Q

ダイコンのコンテナ栽培は可能でしょうか？マンションではできないだろうと思っていますが、良い方法があれば是非やってみたいと思っています。

まず、深さのある(深さ40cmくらい)コンテナを用意してください(袋栽培でも良い)。粒子の細かい用土(例:マイガーデンベジフル)を用意して容器底にゴロ土を5~6cm入れ用土を7分目くらい入れて軽く押さえます。品種は「ミニダイコン」系の「ころ愛」や「おてごろ大根2号」が良いです。

Q

夏どりダイコンはどうしても辛みが強いことは承知していますが、秋どりでも辛みが強いのはなぜでしょう。辛みを抑える栽培法はありますか。

もともと辛味は品種差が大きいのですが、一般に熟度が進むと和らいでいきます。辛味は首部より根の先端部で強くなります。また、春から夏の収穫型ダイコンは辛味が強いと言われます。これは、品種の特性とも思われますが、高温・乾燥条件ではどうしても辛味は強くなります。秋どりでもこれらの条件が重なると辛味になることはあるでしょう。ダイコンは播く時期によって専用の品種が紹介されます。品種選択を慎重に行いましょう。



タマネギの栽培

ユリ科 ネギ属

タマネギは冷涼な気候を好み耐寒性の強い野菜です。土壌の適応性が広く、特に土壌水分に富む粘質土壌を好みます。球の肥大は日長と温度に関係し、長日条件で気温が上昇すると肥大が促進されます(品種により異なるので、地域の作型との適応性を考慮した品種選択が望ましい)。有効態リン酸が少ないと生育の遅れや球肥大が悪くなります。タマネギは連作が可能な作物なので、リン酸肥料を施用するなど、専用の畑を作りましょう。

品 種	熟 期	規格率	収 量	大きさ	貯蔵性	その他
スーパー北もみじ	中晩生	良	並～多	中	良い	L玉率多い
北もみじ2000	中 生	やや良	多	大玉	優れる	LL玉率やや多い
オホーツク222	早 生	良	多	やや大	良好	玉やや柔らかい
ウルフ	中早生	良	多	大玉	良	玉やや柔らかい
札幌黄	晩 生	並	並	中～大	やや劣る	玉柔らかい

栽培のこよみ	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
露地移植栽培	は種	苗移植	生育	収穫					

※直播き栽培は4月下旬に種まきをしますが、家庭菜園では移植栽培が一般的です。



畑の準備

肥沃で排水性が良く適度に保水性を保つ土壌を選びましょう。多少重目の土壌では、高畝などで排水環境を改善し、有効土層を確保してください。適応酸度はpH6.3～6.7。土壌診断(酸度測定液)をして調整します。植え付け2～3週前に、堆肥(牛糞、馬糞、バーク2～3kg/㎡)を施し、30cmほど耕起します。過リン酸石灰(200g/㎡)を施用します。肥料は植え付け1週間前の整地をするとき、タマネギ用肥料(N15-P20-K15)100g/㎡を施し、深さ10cmくらいにレーキなどで混ぜて平らにしましょう。

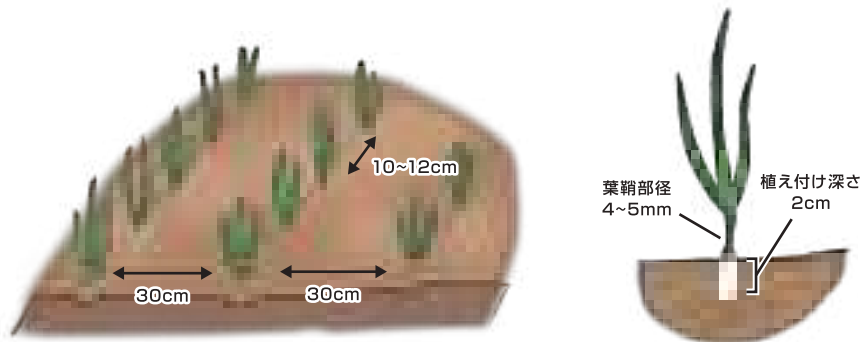
移植(定植)

苗の準備

移植時(5月上～中旬)の苗(購入苗を使用)は、本葉2～3葉になっている苗を選びましょう。草丈25～30cm、葉数3枚、葉鞘部径4～5mm、根10本以上が目安です。

植え付け

通路を60cmとり、畝幅30cm、株間10～12cmの4条植えにすると作業性が高いです。苗の草丈は20～25cmくらいに調整し、長すぎはカットします。植え付け深さは2cm程度とし、深植えや浅植えに注意します。植え付け後、株元を軽く抑えて苗立ちを安定させます。



移植後の管理

苗が活着したら早めに中耕・除草をします。畝幅や株間が狭いのですべて手作業です。灌水は活着まで乾燥状態を見て続けますが、球肥大が始まったら控えましょう。

病害虫防除

- 1)タマネギバエやタネバエ防除→植え付け前に適用殺虫剤を散布しておきます。
- 2)根際から倒れるのはヨトウムシやネキリムシ類の被害。早朝に捕殺しましょう。
- 3)白斑葉枯病や灰色腐敗病など病害は予防が基本。定期的に安全使用基準に基づいて適応殺菌剤の散布をします(農業使用基準を遵守する)。

収穫・保存作業

家庭菜園などでは茎葉が枯れたら晴天を選んで収穫しましょう。収穫したら根を切って日陰で乾燥させ、貯蔵は0～5℃の乾燥した場所に保管します。

容器栽培

苗の準備

購入苗は草丈のつまったがっちりとした苗を選択してください。

コンテナの準備

サイズ650型(65.3×24.5×20.5cmのワイドコンテナ)に赤玉(中)7:腐葉土2:バーミキュライト1の比率で混和します(鉢用培養土でよい)。堆肥(腐葉土)は全体の2割くらいをよく混ぜコンテナに入れて2週間おきます。施肥は、植え付け1週間前に化成肥料(N8-P8-K8)15g、過リン酸石灰10gを深さ10cm位に混ぜて平らにします。

植え込み

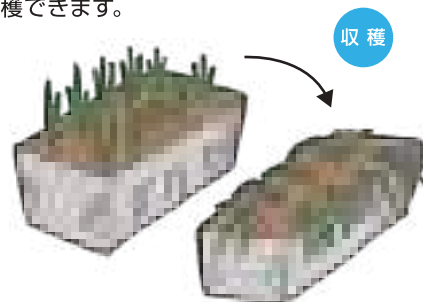
施肥の1週間後、コンテナに合わせて1条5株植えで2条均等に植え付けます。

追肥

20日後に化成肥料(N5-P8-K5)を20g程度追肥します。

収穫

全体の茎葉が枯れたら収穫できます。



Q

植えて間もない頃、数株が根本から倒れていました。周囲を見ても、別段変わった様子がないのに、いったい何が起こったのでしょうか。

ヨトウムシやネキリムシ類の仕業でしょう。地際に潜んで未明の頃苗の地際をかみ切って苗を倒してしまいます。この虫は単独行動なので、被害が発見されたら被害株の周囲を軽く探ると虫を発見することがあります。捕殺すると被害が収まることもあります。植え付け前に適用殺虫剤を散布することで予防できます。

Q

順調に生長していた株が、気がつくと葉に青白い斑点ができて、どんどん増えて斑点が膨らみになって茶色っぽい粉がでるようになりました。タマネギはできているのですが、食べられるのでしょうか。

糸状菌ブッキニア・アリ(ネギさび病)の被害です。長ネギやニラにも発生する病気ですが、まれにタマネギに発生し、発生した畑では夏孢子で二次伝染を繰り返します。罹病株は早期に除去し、適用殺菌剤を散布しておきましょう。孢子が飛散していますから跡地にネギ類の作付けは避けましょう。また、できたタマネギには病気が付着しているわけではないので食用に差し支えありません。

Q

貯蔵していたタマネギが、食用に使うときカットしたら中身が真っ黒になっていました。病気に感染していたのでしょうか。また、健全な鱗片は食べられますか。

タマネギ貯蔵中の障害とはかぎりません。ほとんどが栽培中の管理の手違いによると思われます。カットしたときタマネギの上部が傷んでいたら、灰色腐敗病。表皮の内側1～2層の鱗片だけ痛んでいたら鱗片腐敗病。外側のほとんどが健全で中心部が痛んでいたら、芯腐れ。タマネギをひっくり返して球の底だけが腐れていたら、乾腐病。これらの障害は栽培中の管理が原因と思われ、窒素過多、肥料の遅効き、また収穫後の乾燥処理が適切であれば防止できます。表面に点々と茶褐色の斑点が広がっていたら黒カビ病。貯蔵中に発生しやすいのは黒カビ病で、貯蔵温度が高かったり風通しが悪く湿気が高くなるとこの症状が出ます。貯蔵後期に発生しやすいので、その時期には頻りに様子を見るのがよいでしょう。



灰色腐敗病



鱗片腐敗病



芯腐れ



乾腐病



黒カビ病



レタスの栽培

キク科 アキノノゲシ属

気候的には冷涼を好み、生育適温は15～20℃です。高温で日が長いとう立ちしやすくなります。また、植え遅れになった苗(老化苗)を使うとう立ちしやすくなるので注意しましょう。

主な品種	春まき	シルル、アスレ
	晩春～初夏まき	スパーク、シニア
	夏まき	マイヤー、シニア

栽培のこよみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
4月まき	屋内管理 は種	不織布被覆栽培 植え付け	収穫				
5月まき		は種	植え付け	収穫			
6月まき			は種	植え付け	収穫		
7月まき				は種	植え付け	収穫	

畑の準備

畑のpH(酸度)は6.0～6.5を目標に石灰を入れてください。札幌市内の家庭菜園は石灰を入れすぎている畑が多いので、「酸度測定液」などで土の酸度を調べてから石灰を施用してください。石灰が多すぎると生育は悪くなります。堆肥・石灰を施用してから種まき・植え付けまで、最低2週間以上の期間をあげましょう。秋に施用し耕起して置くことが好ましいです。施用した堆肥・石灰などが畑になじむまで時間が必要です。排水の良い畑、粘土の強い畑は幅90cm、高さ10～15cmほどの高畝を作り、根が張る深さの層に水が過剰にならないようにします。

肥料

堆肥2kg/m²を前年の秋に施用・耕起します。(堆肥は畑に対し、年1回の施用で良いです。)野菜用化成肥料100g/m²、または野菜用有機肥料120g/m²を植え付け1週間前に全量施用します。生育期間が短いので追肥は行いません。

種まき・苗作り

苗は多めに作り、良い苗だけを植えてください。小さい苗を植えても大きな物は収穫できません。一度に数多くのレタスを作っても余りますので、1回に播く種子は20粒程度にし、その中から良い苗を10株ほど植えつけます。4～7月まで順次種まきをします。春の苗作りの期間は4週間、夏の苗作りは3週間を目途にします。種子は光が当たった方が良く発芽しますので、覆土はごく薄くかけ、発芽するまで、は種床表面を乾燥させないように注意してください。種まき時の温度は15～20℃位で行います。30℃以上、5℃以下では芽が出てこないことがあります。夏の種まきは水に浸し、一晩、冷蔵庫に入れてから種まきすると発芽が良くなります。

イチゴのパックに種まき

底に穴をあけ、用土を入れたイチゴのパックにスジ播きし、本葉が2枚出たら鉢に1株ずつ移植します。

連結ポットに種まき

連結ポット(小さなポットが繋がった物、セルトレイとも言います)に種まきする時は、1ポット1粒ずつ種まきをし、新聞紙などで覆うと発芽が揃います。連結ポットは1ポットが小さいので早めに植え付けします。植え付けが遅くなると老化苗になり生育が悪く、とう立ちしやすくなります。

連結ポット(セルトレイ)



植え付け

植え付け間隔は畝幅50cm×株間30cmにします。植え付けは、ポットから抜いた根の形を崩さないように、苗土の上部と地面を同じ高さにします。苗は真っ直ぐ立つように植えます。斜めに植えると球が変形しやすくなります。春先の植え付けは、透明のポリフィルムなどで植え付けの4～5日前に被覆しておき地温を確保します。高温期の栽培は土の温度が上がると、根の活性が低下し生育が悪く、病気にも罹りやすくなりますので、地温を上げないために枯れ草マルチ、ワラマルチ、白黒ダブルマルチフィルム、シルバーマルチフィルムなどを用地工夫をしてください。

マルチフィルム被覆のイメージ(畝幅×株間)



植え付け後の管理

追肥は必要ありませんが、大雨などがあった時は降水量の状況により考慮してください。朝、葉に照りが無く、元気が感じられない時は水をやりましょう。

収穫

レタスの球を触って弾力のある内に収穫してください。玉を大きくしようとして収穫が遅れるとみずみずしさが失われ、苦みが出てまずくなります。収穫は朝どりがみずみずしくて好ましいです。

Q

リーフレタス、サラダ菜、サンチュなどの作り方はどのようにしますか。

「畑づくり」、「肥料」、「種まき・苗作り」、「管理」などはレタスと変わりません。植え付けの間隔が変わってきます。リーフレタスは、畝幅45cm×株間30cm、サラダ菜は、畝幅20cm×株間20cm、サンチュは、畝幅35cm×株間30cmほどにします。

Q

良い形の球形にならないのですが、どのような原因がありますか。

たこ足球

中肋部(葉の中心のスジ)が突出する。窒素肥料が多すぎたり、初夏に温度が上がり窒素肥料が急激に効き始めると生じます。

不結球

外葉が大きくなり結球しない。窒素肥料が多すぎると結球しなかったり、遅れて結球します。

風船球(軟球)

内部の葉が充実せず空洞が生じる。不結球の軽い症状で、窒素肥料が多すぎると発生します。

タケノコ球

球の先端が尖り、らせん状に巻きながら結球する。植え付けの間隔が狭すぎる場合や、夜の温度が高すぎる時(昼夜の格差が小さい時)、灌水の多い時に発生します。

チャボ球

球が大きくなり老化苗を使用したり、高温、乾燥で外葉が大きくなりすぎると発生します。

縁腐れ(チップバーン)

外葉の縁が褐変する石灰欠乏で、乾燥が強い時、チッ素肥料などが多すぎると発生します。

Q

コンテナでも栽培できますか。

ぜひコンテナに植え付けて、近くに置いて楽しんでください。コンテナは650型、容量12Lのものを用いてください。用土は、赤玉土小粒7L、堆肥3L、底石(ゴロ土)2L。肥料は、野菜用有機化成10g、苦土石灰30g。赤玉土・堆肥・苦土石灰は植え付け2週間前によく混ぜて、水を打ち養生しておきます。肥料は植え付け1週間前に混ぜてなじませてください。植え付け当日は、コンテナに底石を敷いて、上に養生した用土を入れては種、又は、植え付けをしてください。植え付け株数は、レタス・リーフレタス:2～3株、サンチュ:3～4株、サラダ菜4～5株にします。管理は畑栽培に準じますが、畑栽培より変形球が生じやすいので、肥料は上記に書かれているより決してやり過ぎないでください。いろいろな種類のレタスのタネを播いておき、ベビーリーフとして混んできたところから収穫しても楽しむことができます。



ジャガイモの栽培

ナス科 ナス属

ジャガイモは16世紀に、オランダ人によって、ジャワのジャカトラ(現:ジャカルタ)から長崎に導入されジャガイモの由来となっています。南アメリカ原産の根菜類で、冷涼な気候を好む作物です。生育適温20～24℃ですが、16～20℃の気温で良く生育します。霜に弱いため萌芽期の晩霜には注意が必要になります。

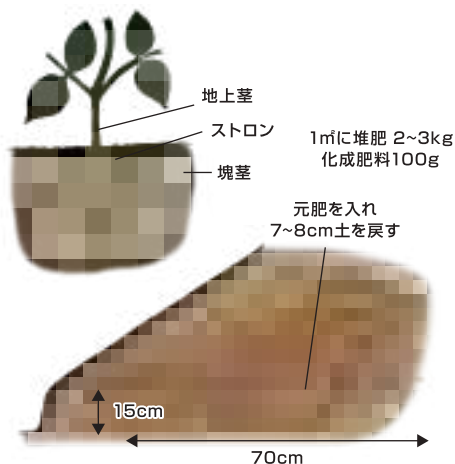
栽培のポイント

- 1 良質でウイルス病に侵されていない種イモ専用のものを購入します。
- 2 土質は選びませんが、日当たり、水はけの良い場所を選びます。
- 3 トマトやナス等との連作を避けます。
- 4 覆土が厚すぎると萌芽が遅れるので注意します。
- 5 適期の芽欠きとイモが露出しないよう土寄せを繰り返します。

品 種	男 爵	肉色白、ホクホク系では伝統的な品種です。
	メークイン	肉色黄白、煮くすれしにくく、煮物料理の定番品種です。
	キタアカリ	肉色明るい黄、ビタミンC含量が多く、味がよい品種です。
	インカのめざめ	肉色濃黄、小粒だがコクのある甘みが特徴です。
	ジャガキッズパープル	肉色淡黄、肉質は粉質でサラダに向く品種です。
	ノーザンルビー	肉色赤、育てやすく病気に強いので家庭菜園向き品種です。

植え付け

最適土壌酸度はpH5.0～6.5です。菜園の土壌がpH5.0～6.0の場合は、微量元素の補給を目的として、前年秋に1㎡当たり苦土石灰を50g程度、完熟堆肥を2～3kg全面散布して良く耕しておきます(pHが6.5に近いときは石灰を入れません)。植え付けの年に化成肥料100gを全量基肥として与えます。肥料焼けをしないよう、その上に5cm程度の間土をします。



種イモの準備

種イモは浴光催芽をしておきます。大きい種イモは40～60gを目安に縦に2～4等分します。



植え付け

植え付けは畝幅70cm、株間25～30cmを目安にします。切り口が下になるよう植え付け、5～6cm程度覆土をします。

芽欠き

30日前後で芽が出てきます。たくさん芽が伸びた場合は太くて勢いのよいものを2～3本残して他は取り除きます。元気な芽の株元を手の平で押さえて弱々しい芽を抜きます。

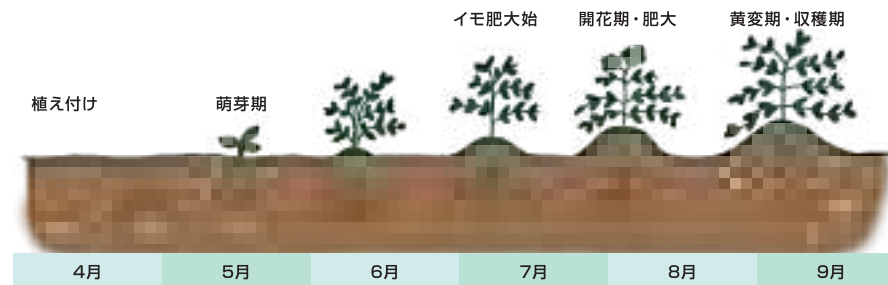


土寄せ

植え付け後30日ほどで地上に萌芽します。本葉を持った茎が直接地上に現れます。その頃霜にあたると葉が枯れてしまうので、一回目の土寄せは芽欠きと除草を兼ねて5～6cm土寄せをします。二回目の土寄せは、茎の先端に蕾がつく頃、15～20cmの高さに株際まで丁寧に行います。

収穫

収穫は茎葉が枯れる前からできますが、地上部が黄変枯萎してから、晴天の日に収穫し、日陰で乾かします。その後、温度4～5℃、湿度90～95%の暗所に貯蔵します。



病害虫

アブラムシ

オオニジュウヤホシテントウ

そうか病

疫 病

容器栽培

用 土

コンテナであれば27L程度(幅52×奥行34×高さ26cm)、ビニール袋の場合は容量25L程度で厚手のものを用意します。市販の野菜培養土または赤玉土6:腐葉土3:バーミキュライト1の配合で用います。化成肥料(8-8-8)25g/25Lを施肥します。

植え付け

コンテナもビニール袋も上の縁から15cm下まで土を入れ、コンテナで3個、ビニール袋で1~2個の種イモを植え付けます。(ビニール袋には排水穴を開け、倒れないようにします。)

管 理

日当たりの良い場所に置き、土の表面が乾いてからたっぷり水やりをします。

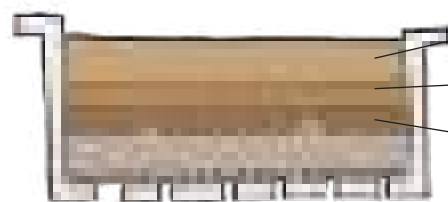
(1)芽欠き、増し土

30日後、太くて勢いのよいものを2~3本残して他は取り除きます。この際に5~6cm増し土します。その後は、花の蕾がつく頃、さらに10cm程度増し土します。

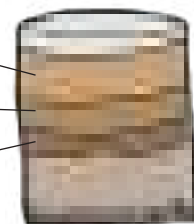
(2)収穫

葉・茎が黄変してきたら収穫適期です。

コンテナ栽培



ビニール袋栽培



Q & A

ジャガイモ編

Q

ジャガイモを植えたら数本も芽が出てきました。そのまま育てて良いのでしょうか。

芽の数が多いまま育てると収穫の時小さなイモがたくさんつくようになります。1個が90g程度のそろったイモを収穫するためには、芽欠きが必要になります。時期としては、芽が10cm程度の時に元気の良い芽を2~3本残してその他は抜き取ります。その際、種イモと一緒に抜けないよう残したい芽の株元をしっかりと手のひらで押さえて抜いてください。

Q

ジャガイモを収穫したら緑色の部分がありました。食べて良いのでしょうか。

ジャガイモの緑になった皮部には、自然毒のソラニンやチャコニンが多く含まれています。そのまま食べますと腹痛、めまい、眠気などの中毒症状が現れることがあります。ジャガイモを貯蔵していますと、休眠から覚めて芽がでてきますが、この芽にも毒性があります。調理の際に、深く芽をえぐり取り、緑色皮部は厚くむくことが必要になります。

Q

ジャガイモ畑の土寄せは何のためにするのでしょうか。

ジャガイモは植えた種イモの上に新イモができます。地表に近いイモに光が当たると、えぐみのもととなる色素(ソラニン)が生成されて、緑色になってきます。これを防ぐために、土寄せが大切になります。また、高温を抑え、イモの肥大に適した地温を維持します。

Q

収穫してみたら皮がザラザラで汚いのです。何が原因ですか。

その皮の状態は「そうか病」かもしれません。皮の表面がウロコをはがしたようになり、褐色の斑点ができます。アルカリ性土壌で発生しやすくなります。対策として、土づくりの際に、石灰の使用を控える、3年輪作を心がける、健全な種イモを選ぶなどが大切になります。

Q

ジャガイモを作りたいのですが、水はけが悪い土地です。対処法はありますか。

日当たりが良ければ場所はあまり選びませんが、水はけを良くするには高畝にする方法があります。ジャガイモに最も適した土は、やや湿り気があり、水はけの良いやや砂質土が申しぶんない畑といえます。畝を高くつくり畝間を明渠状態にすることで排水を良くすれば問題は解決します。

Q

食用として買ったイモがあります。種イモになりますか。

基本的には種イモにできません。食用として販売されているジャガイモは、伝染性のウイルス病に汚染されていることがあります。食べるのには全く問題がありませんが、種イモとしては、芽は出ても良く育たないことが考えられます。ウイルス病はウイルスの感染によって引き起こされる植物の病気で感染していると株は弱り、収量が少なくなります。



サツマイモの栽培

ヒルガオ科 サツマイモ属
原産地 中央アメリカ

生育適温は30℃前後と高く、発根には15℃以上の地温が必要です。イモの肥大適温(地温)は22~26℃で9℃以下では腐敗しやすくなります。強光を好み、乾燥にもよく耐えて生育します。土壌の適応性は幅広く、どんな土壌でも栽培は可能ですが、イモの肥大には耕土が深く、通気性・排水性が良いことが必要です。適正pHは6.0前後です。窒素過多になると、茎葉が茂りすぎ、「つるぼけ」現象を起こすので、肥沃な畑では肥料過多にならないように注意します。

北海道に適した品種

べにはるか、鳴門金時、ベニアズマ、パープルスイートロード、安納芋など

畑の準備

植え付け2週間前に1㎡当たり堆肥2kgや石灰を全面散布し、よく混和します。植え付け1週間前に1㎡当たり窒素3g、リン酸4g、カリ2g(野菜用化成50g/㎡)を施し、高さ20~30cm、幅50cmの高畝を作り、地温上昇と抑草用にポリエチレンフィルムでマルチングをしておきます。

苗の準備

サツマイモは苗を入手するのが基本です。植え付け適期になると、最近はホームセンターなどでポット苗が多く販売されます。茎は太めで、節数が7~8節、長さ25cmくらいのものが良いです。

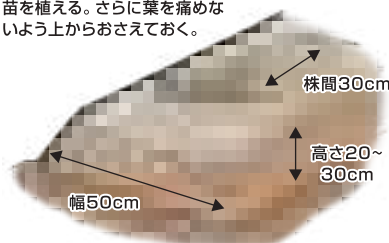
ポット苗は購入後そのまま使うか、切って挿し穂として使います。早めに購入したポット苗は、摘心して新しいつるが3~4本でたあと、20cmくらいの長さで葉が5~6枚ついている状態で切って挿し穂として使います。

購入した挿し穂は定植予定日の2~3日前に購入後、風の当たらない涼しい場所で保管します。



斜め植え

畝に斜めに苗を置き、指先で地中にめり込ませる要領で苗を植える。さらに葉を痛めないよう上からおさえておく。



植え付け

地温が上がる6月上旬、地温18℃になったら植え付けます。高畝の中心に30cmの間隔で植え付け用の穴を開けます。

①斜め植え: 長さ30cmくらいの棒を斜めに差し込み細い穴を作り、切った苗の切り口の方を下にして20cm差し込み植え付けます。

②垂直植え: 棒を垂直に差し込み、挿し穂を2節程度土に埋めます。

③ポットから抜き、2節程度を土に埋めます。

※植え付け後はたっぷりと水やりをします。



植え付け後の管理

定期的に除草をします。株元が盛り上がりイモが顔を出そうなら軽く土寄せをします。肥料、特に窒素分の効き過ぎは「つるぼけ」になり、イモも甘くならないので禁物です。葉色がとくに淡すぎるようなら少量の化成肥料を畝の裾に追肥します。普通の野菜畑の肥沃度では追肥の必要はありません。

容器栽培

コンテナ(長さ65cm、約14L)1個に市販の培養土12Lに野菜用化成肥料(N8-P8-K8)6gを混ぜ、2株を植え付けます。



収穫・貯蔵

サツマイモは、寒くなっても葉はあまり黄変しないので、収穫適期が判りにくいかもしれません。収穫の目安は、植え付けから4カ月を経過していることです(積算温度で2600~2800℃)。霜が降りる前の晴天の日に収穫を済ませます。

- (1) つるを鎌などで刈り取り、畝の外へ出します。
- (2) イモを傷つけないように、クワを入れ、できるだけつるからイモを離さないように、丁寧に掘り上げます。
- (3) イモの汚れを落とし、切り口を乾かすために直射日光をさけた風通しの良い場所で2~3日保管します(キュアリング)。切り口が乾き、コルク状になったら、発泡スチロール箱などに入れ、涼しい場所で貯蔵します。10℃以下になると低温障害を起こすので注意します。



干しいもの作り方

準備する道具

蒸し器、包丁、まな板、ザル、厚手ビニール手袋・軍手、たわし、菜箸

蒸かし作業

たわしで良く洗ったサツマイモを、水を張った蒸し器に並べ、蓋をして沸騰してから中火で約90~120分蒸かします(菜箸がずっと刺さるのを目安にします)。

皮むき作業

イモが蒸かし上がったら、皮を剥がすようにむきます。軍手の上からビニール手袋をして熱いうちに剥がします(冷めてしまうと剥がしづらいです)。



スライス作業

イモが冷めたら、厚さ5~10mm位の好みの厚さに、繊維に沿って縦方向に切ります。

天日干し作業

スライスしたいものをザルに並べ、よく乾くように5日程度干します(屋外では、野鳥などに食べられないように注意します)。

Q

サツマイモのつる返しは何故行うのですか？ また、必要でしょうか。

サツマイモのつるは、土に触れている部分から根付きはじめます。その根をそのまま放置するとそこからもイモが出来始めます。そうすると葉でできた養分が何ヵ所かに分散し、いいイモができません。そのためつるの途中から根の張るのを防止したり、張ってしまった根を抜いてイモができないようにします。しかし、最近では作業に伴う株の損傷による影響が大きいことや、マルチングをしているため、行われないことが多いようです。

Q

サツマイモの栄養価は。

主な成分はでんぷんですが、整腸作用のある食物繊維、各種ビタミン、ミネラル類も豊富です。コラーゲンの生成を助け、免疫を強化し風邪を予防する働きのあるビタミンCが多いのが特徴です。サツマイモのビタミンCは、加熱調理しても糊化したでん粉の作用により、壊れにくいという長所があります。老化現象のもとになる過酸化脂質が体内にできるのを抑制するビタミンEなども多く含まれます。

Q

条溝いもは何故できるのですか？ その防止策は。

成熟期の多雨により、イモの形状が乱れる二次肥大(条溝いも)が発生します。防止には適期収穫を心がけることです。収穫の目安は、4カ月を経過し、植え付けからの積算温度が2,600~2,800℃となっていることです。霜が降りる前の晴天の日に収穫を済ませましょう。

Q

サツマイモを収穫したら、太りの良くない小イモばかりでした。茎葉は良く茂っていたのになぜでしょうか。

サツマイモは窒素を吸収する力が強く、夏にはつるが盛んに伸びて困るほど茂ります。ところが、根に養分がうまく蓄積されずに、太りが悪く、まずいものになってしまうことがあります。これを「つるぼけ」といいます。サツマイモ専用の肥料(N3-P7-K10)は窒素が少なく、加里が多く配合されています。イモ専用肥料が入手できないときは、普通化成肥料(N8-P8-K8)、米ぬか、草木灰をそれぞれ1㎡当たり50g程度施します。



ゴーヤの栽培

ウリ科 ツルレイシ属

ゴーヤは、熱帯アジア原産の果菜類。「ツルレイシ」、「ニガウリ」とも呼ばれます。別名のニガウリの名前が示す通り、独特の苦味が特徴です。この苦み成分はモモルデシンといいます。グリーンカーテン、健康野菜としてゴーヤは家庭菜園でも気軽に取り組むことができます。

栽培のポイント

- 1 植え付け時は苗が風に吹かれ倒れないよう仮支柱をします。
- 2 晴天が続く乾燥高温期は朝または夕方に十分水やりをします。
- 3 肥料切れを防ぐため追肥をします。
- 4 ネットを張って誘引すると育てやすくなります。
- 5 収穫の目安は、開花後20日、大きさを長果種35cm、短果種20cm前後になります。

品種

沖縄あばしゴーヤ	沖縄地方でよく見られる太くてずんぐりしたニガウリ。
沖縄願寿ゴーヤ	果長30～35cm、平均果重500g、肉厚みずみずしい。
白れいし	白皮のゴーヤで、苦みが少なく食べやすい。

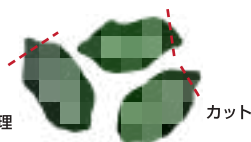
種まき

ゴーヤは暑さに強く、寒さに弱いので、目安として、最低気温15℃になる時期から30日逆算して種まきします。種まき前に種の先端を爪切りでカット、4時間くらい水につけておくと発芽しやすくなります。9cmポットに3粒まき、軽く土を被せ水やりします。地温を28～30℃に保つと4～5日で発芽します。

育苗

発芽後の育苗は地温20℃位に下げて、茎の伸び過ぎに注意します。本葉が10円玉位に展開した頃、育ちの良い株を1本残して間引きします。育苗中の水やりは、土の表面が乾いたら晴れの日の午前中に行います。本葉3～5枚程度が植え付け適期です。

種子の前処理



カット



畑の準備

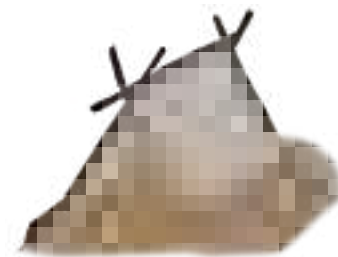
日当たりと水はけの良い場所を選び、植え付け2週間前に1㎡当たり完熟堆肥2kg、苦土石灰100gを散布しよく耕します。土壌酸度はpH6～7.5です。その後1週間前に化成肥料100gを散布して十分耕します。畝を立て、保温、保湿のためにマルチをします。

植え付け

植え付けは活着を促すために6月上旬～下旬の晴れた日の午前中に行いますが、植え付ける前に、苗にたっぷり水やりをしておきます。株間は広めに1m程度とりま。深植えに注意して株元を軽く押さえ植え付けます。

仕立て方

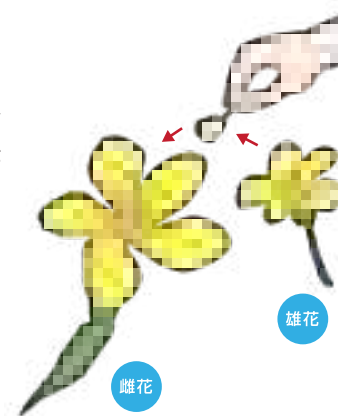
ネットに誘引して垣根仕立て(グリーンカーテン)、合掌立など畑の状況に合わせます。週に一度ネットに誘引します。仕立て方は色々あります。家庭菜園では(1)本葉5～6枚で親づるを摘芯して、元気な子づる3～4本伸ばします。(2)植え付けから50日を目安にネットの上に出た先端を摘芯し、子づるを伸ばします。その後は基本的に放任としますが、ネットや支柱からはみ出したつるや、ひどく混み合った場合は整枝を行います。



合掌立

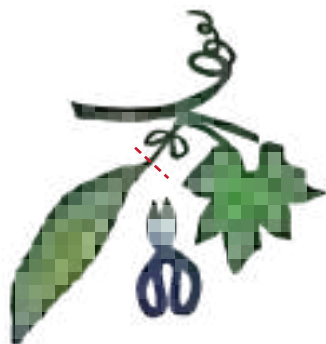
交配

ゴーヤは受粉しないと着果しません。ミツバチなどが交配し着果しますが、期待できない場合や気温が低い時、実付きが悪い時は人工交配が必要になります。朝9時までに行います。



収穫

植え付けの約2か月後から、収穫ができます。開花後20日ほどの若い果実で、実が長くなる品種は35cm前後、短い品種は20cm前後を目安にします。実のつけ根は固いので、ハサミで切り取って収穫しましょう。



追肥

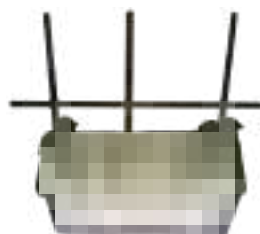
追肥は1番果の収穫開始から行い、10日から2週間に一度窒素成分で1㎡当たり2gとして化成肥料(N8-P8-K8)で25gを施用します。

病害虫

アブラムシ

ハダニ

うどんこ病



容器栽培

準備

約38L程度(幅79×奥行28×高さ19cm)のコンテナを用意します。市販のpH調整済み野菜培養土(肥料入り)を用います。

植え付け

植え付けは、活着を促すために6月上旬～下旬の晴れた日の午前中に行いますが、植え付ける前、苗にたっぷり水やりをしておきます。1～2株を深植えに注意して、株元を軽く押さえ植え付けます。

管理

日当たりの良い場所に置き、土の表面が乾いてからたっぷり水やりをします。乾燥が強くなる高温期は朝夕に十分な水やりを行います。

(1)仕立て

子づる3～4本仕立て(二株植えは二本仕立てにします)にします。

その後はつるが支柱の高さに達したら摘心します。

(2)追肥

肥料切れにならないよう月2回液体肥料等を与えます。

Q

ゴーヤを種から育てています。発芽も悪く、生長があまり良くありません。

ゴーヤは硬実種子といって果皮が硬くそのままの状態では発芽までに時間がかかります。爪切りなどで軽く傷をつけて30度位のぬるま湯に約4時間くらい浸してからまくと、発芽しやすくなります。種の中に水分をしみこませることができれば問題ないので、脱脂綿に水を含ませてそこに浸しておく程度で良いと思います。また種まき後の温度が重要で、発芽適温が25～28℃と高温での管理が基本になります。

Q

ゴーヤの花はいっぱい咲きますが、実がなりません。何故ですか。

ゴーヤには雌花と雄花があります。ミツバチなどの昆虫が授粉してくれなければ実が付かないので、人の手による授粉が必要になります。時間は朝9時頃までには終わらせませす。また、ゴーヤは短日条件の下で咲く性質がありますので、夏至を過ぎたあたりから雌花が咲き実付きもよくなると思います。もう一つ、ゴーヤの雌花は親づるよりも子づるに多くつきますので、親づるを5～6節で摘心して子づるを伸ばす整枝法をお勧めします。

Q

実はどれくらいの大きさを収穫するの。

ゴーヤの実は、未熟うちに収穫します。長大種の大きさの目安は、コンテナで10～20cm、地植えで20～30cmくらいになります。縦に伸びきってから太くなっていくので、太さが変化しなくなり緑色が少し薄くなったら収穫します。また、日数では開花から12～20日目収穫時期になります。収穫が遅れますと果皮が黄色くなり、熟しますと果皮が裂け中から赤いゼリーに包まれた種子が出てきます。赤いゼリー部分は甘みがあり食べられます。

Q

なぜ摘心をするのですか？また、摘心方法について詳しく教えてください。

北海道で果実の収穫を楽しむのを目的にする場合は、摘心をおすすめします。親づるには雌花が少なく、大きな実がつきにくいので、親づるを切って子づるや孫づるを伸ばしてあげます。親づるが5～6節くらい伸びたところが最初の切り時です。



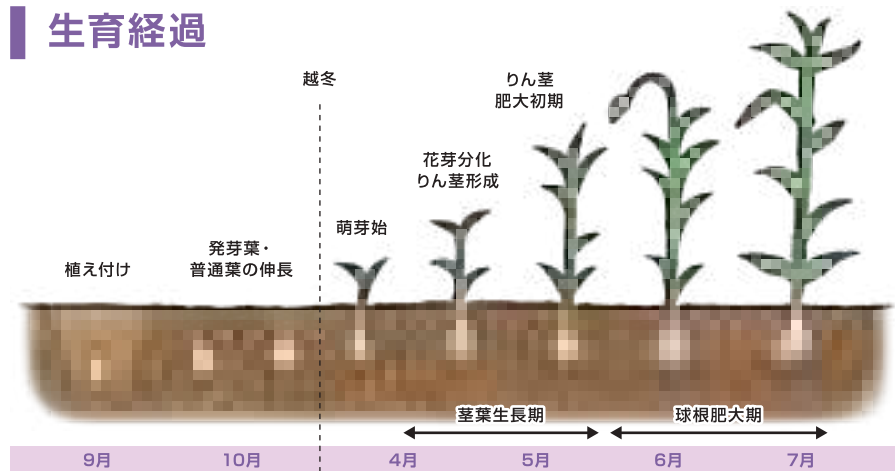
ニンニクの栽培

ユリ科 ネギ属
原産地 中央アジア

ネギやタマネギと同じくユリ科ネギ属に属する植物で、葉は扁平です。夏に地際に球が形成され、その中の側球(鱗片)を食用にします。ニンニクには種子ができないので、側球(鱗片)で増やします。ただ、花と一緒につく珠芽を植えて増やすこともできますが、大きな球にするには年数がかかり、ウイルス病にも侵されます。生育適温は18～20℃です。栽培2年目に収穫できます。

福地系 ホワイト六片	ニンニクの主産地である青森県から導入された品種です。球が大きく、側球数は6個前後です。球の外皮が白色であるため市場価値が高いため生産者は殆どこの品種です。不完全なとう立ちの株が多いため奇形球が出やすく、また、ウイルス病に弱いという欠点があります。
白玉系	「福地系ホワイト六片」選抜系の組織培養個体の中から選抜して育成されたもので、近年栽培が増加しています。「ホワイト六片」に比べ草姿は開きぎみで、草丈はやや高く、鱗茎が重く外皮の色は白です。とう立ちの時期は晩生で多い方です。
北海道在来種	北海道に古くから定着している品種で、大型でとう立ちします。側球数は約6個で、ウイルス病に強く作りやすい長所をもっています。ただ、球の外皮がピンク色のため市場価値が低く、あまり作られなくなっています。しかし、実際に食用にする時には色は関係ありませんし、家庭菜園では病気に強いのでお勧めです。

生育経過



畑の準備

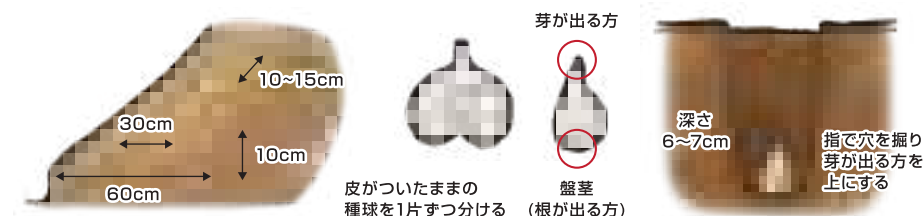
植え付け時期は、9月中旬～下旬です。遅れると大きな球が出来ません。大きくて良い球を収穫するためには、土が肥えていて水はけがよく、土壌酸度はpH6.0～6.5で、リン酸分の多い畑が必要です。

- 植え付け2週間前 1㎡当たり堆肥2～3kg、石灰150gを土とよく混和します。
- 植え付け1週間前 1㎡当たり化成肥料100g、過リン酸石灰200gを全面散布し、よく混和します。

雪解け水に浸るのを避けるために、高さ10cmの高畝にします。1条植えなら30cm、2条植えなら60cm、3条植えなら幅90cmにします。

畝づくり・植え付け

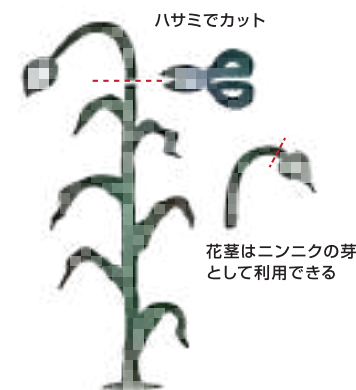
畝幅30cm、株間10～15cmに側球を植え付けます。少し深い植え溝を作り、側球は深さが6～7cmくらいになるように、一つずつ差し込みながら植えて覆土します。



植え付け後の管理

普通秋のうちに発芽して冬を迎えます。春になって新葉が大部分出揃った頃、化成肥料を1㎡当たり80gぐらいを畝間にまき、除草を兼ねて表面の土と軽く混ぜます。(中耕除草)

6月中旬から下旬にかけて最終葉の葉鞘分岐点からとうが伸びてくるので、この蕾を首のところから摘み取ります。この作業を摘蕾といいます。これをしないと花や珠芽の方に栄養が取られて、球の肥大が悪くなります。



病害虫防除

ウイルス病

葉枯れ病

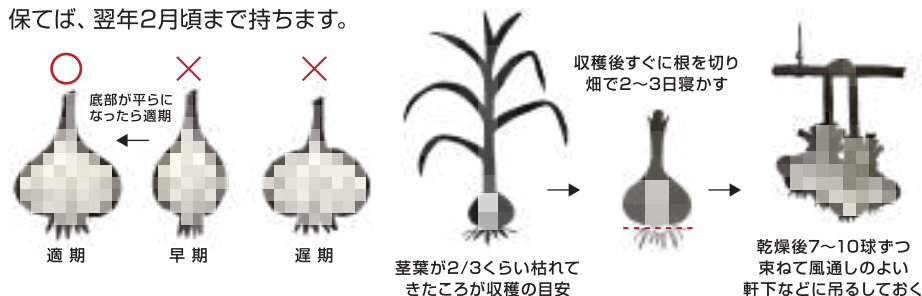
黒斑病

葉先枯れ症状*

※葉先枯れ症状とは、5～6月頃から葉の先端が枯れたり、葉全体が萎れて黄変する生理現象です。土壌酸度の矯正、保水力を高めるための堆肥の施用、リン酸多施による根の発育促進などが対処法として挙げられます。

収穫・貯蔵

収穫適期は、地上部が半分以上黄変した時期(7月下旬～8月上旬)です。球が十分に太っていて、底部が平になっていたら収穫適期です。あまり遅れると裂球が多く、色合いも悪くなって、収穫作業も困難になります。収穫は、晴天の日を選んで株を抜き取り、土が乾燥している時は2～3時間、湿っている時は1日、日干ししてから土をよく落として根切りします。その後日陰の風通しの良い所に吊り下げるか、茎を10cmくらいで切り、40日程度乾燥します。長期保存する時は、乾燥の終わったものを3℃前後、湿度70%くらいに保てば、翌年2月頃まで持ちます。



容器栽培

コンテナ(長さ65cm、約12L)1個に市販の培養土12Lに苦土石灰14g、タマネギ用肥料(N10-P12-K10)12g、熔成燐肥10gを入れ、種球(鱗片)11個を株間15cm、畝幅8cmの3条千鳥植えにします。植え穴は、種球の上に土が1～2cmかかるくらいの5～7cmの深さが必要です。まず、ペットボトルのふたなどを使い、植え穴の位置を決め、棒などを使って開けましょう。種球を1穴に1片ずつ芽を上にして、向きを揃えて植え付けます。融雪直後に化成肥料10g追肥します。

Q ジャンボニンニク(無臭ニンニク)とはどのようなものですか。また、どのように栽培すればよいですか。

ジャンボニンニクは無臭ニンニクと呼ばれて販売されていますが、ニンニクとは別の種で、リーキと同じ種の別変種です。草丈が高く、広くて平らな葉はリーキによく似ていますが、ニンニクに似た鱗片からなる大きな鱗茎をつくります。臭いはニンニクと全く同じではありませんが、リーキよりはニンニクに近いです。種子は球根の回りについている側球という部分で、8g位のしっかりした部分を使います。畝幅30cm、株間20cmで植えます。

Q 食品として販売しているものや、自家採種のニンニクを次年度に使えますか。

ニンニクは種子ではなく、鱗茎を1片ずつばらした鱗片を使ってふやします。青果として出回っているものはウイルス病にかかっていることがあるので、必ず種球は通信販売、種苗店、ホームセンターなどで入手するようにしましょう。

Q ニンニクの栄養価と、食べ方については。

ニンニクの強い香り成分「アリシン」はビタミンB1の吸収を高める作用があるので、スタミナアップに効果があります。ビタミンB1はニンニク自体にも含まれていて、糖をエネルギーに変換する役割を持ち、疲労回復に役立ちます。アリシンには抗酸化作用や食欲増進、血栓を予防する効果もあるとされています。また、体内の余分なナトリウムを排泄するカリウムや、皮膚の健康を助けるビタミンB6、貧血予防によいとされる葉酸なども含まれます。ただし、ニンニクは食べ過ぎると胃腸を刺激して痛める恐れがあります。とくに、生のままだと刺激が強いので、1日1片、加熱したものでも1日1～2片程度に抑えましょう。



イチゴの栽培

バラ科 オランダイチゴ属

温度は18～25℃で冷涼な気候を好み、5℃以下で生育を停止します。水はけ、水持ちの良い、柔らかな湿潤な土壌を好み、適正pHは5.0～6.0です。露地植えに向く品種は「宝交早生」です。

花芽の分化はイチゴの収量が決まる一番大切な時期で、これを踏まえて作業日を決めます。北海道の初夏どり栽培(一季取り)は秋の短日低温によって花芽ができ、雪の下で休眠し、翌春花芽が上がり、開花し果実が肥大して熟し収穫になります。花芽ができる時期は、9月20日頃からで、これまでに苗を十分な大きさにしておく必要があります、この時期に苗の発育が悪いと花芽が十分に発達せず収量が低下します。

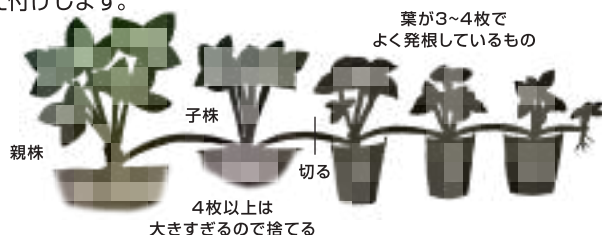
栽培のこよみ	7月	8月	9月	10月	～	4月	5月	6月	7月
露地栽培									
	苗取り育苗	植え付け							収穫

苗の選別

7月末に葉の枚数が4枚以上の子株(通常「1番苗、太郎苗」)は老化苗で変形果が多く収量が低下し、病気の感染も多いので使用しません。1番苗でも葉が3枚以下で無病の物は老化苗ではないので使用しても良いでしょう。

苗作りの手順

7月末に本葉2～3枚のランナー苗をポットに動かないようにして置きます。その時は根は出ていなくても良いです。ポットに誘引してから7～10日ほどで根付きますので、根が出ているのを確認し、親からのランナー(つる)は4～5cm残し、次の子株へのランナーは短く切ります。ポットの苗を一箇所に寄せて2週間ほど育苗し、苗を充実させます。8月25～31日ごろに、畑に植え付けします。



育苗に使う用土・肥料

用土は新しく清潔な園芸用培養土をします。肥料は用土10L当たり、園芸用化成肥料10g、過リン酸石灰10g施します。

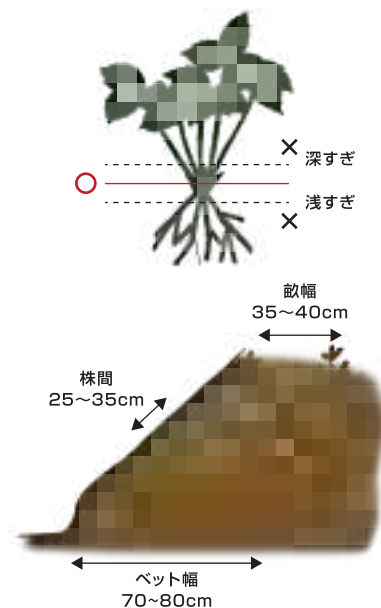
置き場所・管理

置き場所は3～4日は明るい日陰に置き、その後は日の当たるところに置きます。ポットを置く場所は水の溜まらないところを選び、根腐れを回避します。ランナーを切り離れた当初は根が少ないので、乾燥させないように注意します。

施肥・植え付け

多肥は実が赤くならない白口果、形が乱れる乱形果、実が柔くなる軟弱果などの発生につながります。適正な量の施肥を心がけましょう。

施肥・耕起後、畝を高くして黒、緑、紫のマルチフィルムを使用します。(秋に地温を確保し花芽を多くするためと、雑草抑制のためです)。根は乾燥に弱いので、作業時の乾燥に十分注意します。植える深さはランナーの茎が出ている所までにします。深く植えて芽(生長点)が土で覆われてしまうと生育が大幅に遅れます。8月25日～末頃まで定植を済ませ、9月20日頃から始まる花芽分化に備えましょう。



畑の施肥量(1㎡当たり)

基肥

2週間前：堆肥2kg、過リン酸石灰20g
1週間前：野菜用化成肥料80g

追肥

雪融け時：野菜用化成肥料20g
収穫開始時：野菜用化成肥料20g

畑の管理

秋の管理

秋に発生するランナーと病害虫の発生源となる枯れ葉を取り除きます。

春の管理

病害虫の発生源になる枯れ葉を取り除き、うどんこ病、ダニ防除を行います。

病害虫防除

畑観察をこまめに行い、発生病害虫に対応した防除を行い、農薬散布を最小限にとどめます。葉が黄色みを帯び枯れてくる病気(萎黄病、萎凋病など)は根からの病気で連作、水のやり過ぎ、乾燥のしすぎなどで根が傷んだときに感染しやすいので輪作を行い、水管理、多肥に注意します。炭そ病は水の跳ね返りで感染するので、ワラマルチなどで跳ね返りを防ぎます。

収穫前の作業

春は乾燥が強く、砂・小石の多い畑などは乾きやすいので、雨の無い時は適時灌水をします。ただ、過湿にも弱いので水のやり過ぎはマイナスになります。また、果実が畑の土につくと傷みやすいので、下にワラ、スポンジ状のネットなどを敷き、果実の傷みを防いでください。

収穫

開花後およそ30日で赤くなり収穫できます(積算温度で600~700℃)。
赤みが差し始めた時は酸味が強いですが、赤みが強くなると甘くなり収穫時期です。

容器栽培

コンテナは650型、容量12Lのものを用いましょう。用土は、赤玉土小粒7L、腐葉土3L、底石(ゴロ土)2L。肥料は、野菜用有機化成10g、苦土石灰30g。作業順:①赤玉土・堆肥・苦土石灰は植え付け2週間前によく混ぜて、水を打ち養生します。②肥料は植え付け1週間前に混ぜてなじませます。③植え付け当日は、コンテナに底石を敷いて、上に培養土を入れて植え付けをします。植え付け株数は、2~3株です。管理は畑の栽培に準じます。

授粉

家の中では花が咲いても虫がいないので授粉しません。花が咲いたとき
柔らかい筆か綿棒で雄しべの花粉を雌しべの先端に付けてください。

Q

葉の縁が上を向きカップ状になり、縁に茶色に変色した縁取りがありますがどうしてですか。

Q

窒素肥料が多い時、石灰が欠乏するとそのような症状が出ます。

Q

葉の縁が下側に向き、葉の脈と脈の間の緑色が薄くなったり、茶色に枯れてきていますがどうしてですか。

マグネシウム(苦土)欠乏です。苦土の施用が足りない時はもちろんですが、苦土の不足よりは、石灰の過剰施用、堆肥の過剰施用は加里過剰になり、肥料バランスの崩れで生じていることが多いです。

Q

インターネット、ホームセンターで「あまおう」・「とちおとめ」など本州産のほかに四季どりのイチゴ苗を売っていることがあるのですが、育て方は同じですか。

本州産品種の栽培

道内で作られた品種と栽培上の性質が異なり、ほとんどの品種が畑栽培に不向きです。大きな違いは、北海道は冬の期間が長く、本州で作られた品種は生育があわないことです。本州の品種は苗の時一定の期間、低温にあわせ花芽を作ってから、ハウスなどで栽培すると次々と開花と結実があり、半年以上も収穫が続きますが、北海道で畑栽培すると春にわずかな花が咲き、実るだけで、「宝交早生」に比べると、1/3~1/4以下しか収穫できない品種が多いのです。コンテナ栽培で冬期に屋内管理にすると長期間の収穫が可能です。秋分の日以降に3~4週間低温に合わせ、その後、室内で管理すると4~6ヶ月間の収穫が可能です。これには十分に光を当て、適正な肥料・水・病害虫防除管理が必要です。

四季どり品種の栽培

四季どり品種は次々と花が咲き、花後1ヵ月ほどで実が赤くなります。植え付けはいつでも良いですが、春植えがベストで、収量は春に多く、次いで秋、夏、冬となります。ケーキなどにのせる品種がほとんどで、酸味が強く生食には不向きです。植えつけてから株がしっかりするまでは、花の房が上がってきても2ヵ月ほどは房を摘んで株を作ります。株がしっかりしてから常に花の房数は3房ほどにすると成り疲れが少なくなります。収穫が少なくなり始めたと感じたら、花の房を全部摘みんで株を1ヵ月間ほど休ませ、体力を回復させてから実をつけるようにします。

肥料:基肥は本州産品種、四季どり品種とも容器栽培に準じます。追肥は、四季どりの畑栽培では野菜用化成肥料を5~8月に5g/㎡を2週間置きに、9月以降には3週間置きに施肥してください。本州産品種、四季どりのコンテナ栽培では液肥1000倍液を生育4~9月に7~10日置きに、10~3月には10~20日置きに施用してください。

収穫後の作業

野菜を収穫したらそれで終わりではありません。野菜を育てた土は疲れています。翌年も元気な野菜を育てるために、後片付けと準備を行っておきましょう。

清掃

収穫した野菜の茎や葉、根(残渣)はそのまま畑に放置すると翌年の病害虫の発生源になります。ウドンコ病、灰色カビ病など、多くの作物を侵すカビ病は、茎葉で冬を過ごし翌年の作物を侵します。

ナスなど多くの作物を侵す半身萎ちょう病菌、ハクサイ、キャベツなどに付く根コブ病菌、センチュウの卵などは土の中で数年間生存します。茎葉の片付けを行わないとこれらの菌・卵が増殖し、密度がより高くなり連作障害を引き起こしやすくなるので、しっかりと取り除き、使用した支柱などの資材も洗ってから殺菌剤で消毒して保管しましょう。

堆肥・土壌改良材の施用

堆肥や、石灰などの土壌改良材を施用する計画のある場合は、秋に施用し耕耘する秋起こしをしておくとういでしょう。春に施すと作付けまでに施用した堆肥や土壌改良材がなじまず、根に障害を引き起こすことがあります。秋に施用しておけば土になじむ時間が十分にあるので春の障害が少なくなります。

⚠ 石灰施用の注意

札幌市内での家庭菜園の土は7割位が石灰過剰になっています。石灰が過剰だとpHが高くなり微量要素が欠乏し、生育が悪くなってしまいます。石灰を散布するときは酸度測定液(ホームセンターで入手可)でpHを調べ、本当に畑に石灰が必要か見極めてから施用してください。

野菜くずで堆肥作り

露地栽培などで野菜くずが大量にあるときは、ゴミとして捨てずに堆肥を作り畑に戻してみよう。野菜は植物体の殆どが水分なため、そのままで堆積すると腐敗が始まり、悪臭や不快害虫が発生してしまいます。そのため天気の良い日に、畑の上で乾いた野菜くずを回収して材料にしましょう。

水の溜まらない、少し高めの場所に材料を10cmの厚さに積み上げ、畑の土を1cmほど敷いた上に油粕や米糠などを軽く撒き十分に踏圧します。これを繰り返してサンドイッチ状に80cmほどの高さまで積み上げます。

積み上げてしばらくすると、積み上げた野菜くずが発酵して60℃～70℃まで温度が上がります。発酵が始まった堆肥は半年に1回程度の割合で積み替えを行い(切り返し)、この作業を3～4回ほど繰り返すと野菜くずの形がなくなっていきます。切り返しをしても温度が上がらなくなったら、1～2ヶ月ほど寝かせて熟成させると良質な堆肥ができあがります。

病害虫に対する農薬表

病害虫名	被害を受けやすい野菜	農薬名(代表的なもの)
ウドンコ病	トマト、キュウリ、ゴーヤ、ニンニク、イチゴ	ダコニール1000、カリグリーン、モレスタン水和剤
葉カビ病	トマト	ビスダイセン水和剤、オーソサイド水和剤
灰色カビ病	トマト、キュウリ、タマネギ、イチゴ	ダコニール1000、カリグリーン、ベンレート水和剤
葉枯れ病	ニンニク	ダコニール1000
疫病	トマト、ジャガイモ	ダコニール1000、オーソサイド水和剤
黒星病	キュウリ	ダコニール1000
黒斑病	ニンニク	ダコニール1000
べと病	キュウリ、タマネギ、イチゴ	ベンレート水和剤、オーソサイド水和剤
斑点細菌病	キュウリ	カスミンボルドー水和剤
黒点病	ダイコン	ダコニール1000
軟腐病	ダイコン	カスミンボルドー水和剤
白斑葉枯病	タマネギ	ダコニール1000
灰色腐敗病	タマネギ	フロンサイド水和剤
アブラムシ	トマト、キュウリ、ジャガイモ	オルトラン粒剤、スミチオン乳剤
オンシツコナジラミ	トマト、キュウリ	粘着くん液剤、オルトラン水和剤、アドマイヤー水和剤
ハダニ	キュウリ、ゴーヤ、イチゴ	粘着くん液剤、モレスタン水和剤
タネバエ	ダイコン、タマネギ	カルホス乳剤、ダイアジノン粒剤5
ダイコンバエ	ダイコン	カルホス乳剤、ダイアジノン粒剤5
タマネギバエ	タマネギ	カルホス乳剤、ダイアジノン粒剤5
ヨウトウムシ	ダイコン、タマネギ	オルトラン粒剤、エルサン乳剤
ネキリムシ	ダイコン、タマネギ	オルトラン粒剤、ダイアジノン粒剤5
アオムシ類	レタス	オルトラン水和剤
ナモグリバエ	レタス	カルホス乳剤、モスピラン粒剤
オオニジュウヤホシテントウ	ジャガイモ	スミチオン乳剤
アザミウマ(スリップス)	ネギ、タマネギ	粘着くん液剤、マラソン乳剤

※農薬は濃度によって効果が大きく変わります。自分で判断せずに、各野菜に適応した薬剤の取扱説明書に従って正しく使用しましょう。



「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの?」「肥料はいつ何をやればいいの?」こうした園芸に関するさまざまな相談に、専門知識をもった経験豊かな「緑の相談員」がお答えします。直接お越しになるか、電話でも相談をお受けしています。

豊平公園 緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

開館時間 8時45分～17時15分
休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日)
12月29日～翌年1月3日

緑の相談 TEL.011-811-9370

相談日 上記休館日を除く毎日
時間 10時～12時、13時～16時

百合が原 緑のセンター

北区百合が原公園210番地

開館時間 8時45分～17時15分
休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日)
12月29日～翌年1月3日

緑の相談 TEL.011-772-3511

相談日 4月下旬～11月上旬、毎週木・日曜日
時間 10時～12時、13時～16時

温室観覧料

- 大人(高校生以上) 130円
 - 中学生以下・65歳以上 無 料
- (学生証・敬老手帳などをご提示ください)

みどりの図書

各センターでは、園芸、緑化、自然などに関する書籍や雑誌類を自由に閲覧いただけます。

平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

開館時間 8時45分～17時15分
休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日)
11月4日～翌年4月28日

緑の相談 TEL.011-883-2891

相談日 4月29日～11月3日 毎週水・土曜日
時間 10時～12時、13時～16時

札幌市都市緑化基金

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえのない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から寄附をいただいたお金を積み立て、その果実(利子)で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 植樹等による民有地緑化事業

(1) 記念樹プレゼント

札幌市民の結婚、出産、新築、入学などの人生の節目のお祝いに際して、自宅の庭などで苗木を育てることを目的に、事前応募による苗木配付を行いました。

- ①配付月日 平成26年5月17日(土)・18日(日)
②配付場所 百合が原公園

配布苗木名	配布本数
ライラック(花色:白色)	94本
ライラック(花色:紫色)	145本
ライラック(花色:ピンク系)	202本
合 計	441本

(2) 緑化ツタ苗補助

家庭及び事業所等の壁面緑化を計画している札幌市民に対して、植込み予定数の半数(最大15本まで)のナツツタの苗を補助し、壁面緑化の推進を図りました。

	春 季	秋 季	合 計
補助件数	11件	3件	14件
補助苗数	57株	23株	80株
緑化延長	128m	46m	174m

2. 緑化推進に関する普及啓発事業

(1) 第26回さっぽろ緑と花のフォトコンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市内の公園・緑地での花と緑、自然とのふれあいなどをテーマにフォトコンテストを実施し、グランプリ1点、優秀賞6点(各部門3点)、入賞20点(各部門10点)を選考しました。

- 応募総数 151名 608点
・四つ切り部門 …………… 78名 272点
・サービスサイズ部門 …… 73名 336点

■表彰式 平成26年10月14日(火) 札幌すみれホテル
■入賞作品の展示 期間:平成27年3月20日(金)~25日(水)
場所:富士フィルムフォトサロン<札幌>

(2) 第48回緑の絵コンクール

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の小学生・中学生を対象とした、緑をテーマの絵画コンクールを札幌市との共催により実施し、優秀作品50点及び優秀校2校を選考しました。

- 応募総数 33校 1007点
・小学校 …………… 14校 682点
・中学校 …………… 19校 325点

■表彰式 平成26年10月25日(土) ホテルノースシティ
■入賞作品の展示 期間:平成26年10月24日(金)~28日(火)
場所:札幌地下街オーロラコーナー

3.都市緑化サポーター養成事業

(1) さっぽろまちづくりガーデニング講座

花や緑を通して地域や社会に貢献できるボランティア、都市緑化のサポーターを養成するため、ガーデニング講座を開講しました。(実習10回・講義10回)

4.緑を通して地域コミュニティの活性化を促す事業

(1) フラワーポットの貸出し

町内会、商店街等の緑化活動に対して、身近な緑の創出と花壇造成の一助となるようフラワーポットを3年間無料で貸出しました。

貸出数 6団体 210基 ※初年度のみ花苗と培養土を提供

5.緑のまちづくり活動への助成及び支援

(1) さっぽろガーデンシティ活動事業助成

都市緑化の推進や緑化活動によるコミュニティ活性化を図るため、団体などが行う花や緑のまちづくり事業に対して、必要経費の一部を助成する事業を行いました。

助成財源：一般財団法人民間都市開発推進機構(MINTO機構)からの拠出金

申込3団体、助成3団体

(2) さっぽろ花と緑のネットワーク事務局の運営

花と緑のボランティア活動に携わる人や、自宅でガーデニングを楽しむ人たちの相互交流を図り、活動に役立つ情報を提供するため、「さっぽろ花と緑のネットワーク事務局」を運営し、「さっぽろタウンガーデナー」への登録促進と様々な活動を支援しました。

平成26年度札幌市都市緑化基金へご寄附頂きありがとうございました。

ご寄附頂いたみなさま：高橋 准己／矢部 真／小野 喜世彦／小暮 輝久／鈴木 清久／

一般社団法人 日本バーテンダー協会 道央本部 札幌支部／「緑の募金」札幌市役所職場募金／

北のふるさとNグループ／北海道新聞社 北海道マラソン組織委員会／株式会社どりーむ／株式会社すけみつ

※順不同・敬称は省略させていただきます。

すくすくみどり No.24

家庭菜園にチャレンジ！

～ 野菜の栽培方法 悩み解決Q&A ～

平成27年 発行

文・編集 緑の相談員・すくすくみどり編集委員

発行 公益財団法人札幌市公園緑化協会

この冊子は札幌市都市緑化基金の運用益をもとに製作しています。